

心理学・教育学委員会 脳と意識分科会（第25期・第8回）
議事要旨

日時：2023（令和5）年9月22日（金）14時00分～16時00分

会場：オンライン会議（Zoom使用）

出席者：苧阪直行委員長、松井三枝副委員長、坂田省吾幹事、蘆田宏幹事、今水寛、苧阪満里子、川合伸幸、川畑秀明、坂上雅道、高橋英彦、仁平義明、村井俊哉、渡部文子（13名）

メール添付配付資料：第7回議事要旨、心理科学総合研究所構想、記録（案）

議題

(1) 前回議事要旨の確認

前回議事要旨を確認した。

(2) 未来の学術振興構想の心理科学総合研究所構想について

学術会議会員の坂田委員より、心理科学総合研究所構想の提出とそれがグランドビジョン「ヒトの知性を知る、創る、活かすための学術の創生」にグルーピングされた説明があり、松井委員、苧阪直行委員、苧阪満里子委員を中心に議論を行なった。このままロードマップに上がっていくものではないので、実現に向けては別に方法を考えていく必要がある。議論を26期につなげていきたい。

(3) 次期への引継ぎについて

苧阪直行委員より、「融合社会脳研究センター創設に向けて一第20～25期脳と意識分科会における審議経過と審議結果の記録一」と題する本分科会の18年間に至る活動をまとめた文書を学術会議の記録として提出し、採択されたことが報告され、概要の説明がなされた。

坂田委員より、学術会議における分科会のあり方の見直しについて説明された。松井委員より総会での議論について補足があり、今後に関して各委員と意見交換を行なった。

(4) その他

なし